

兄妹少年剣士の夢舞台へ

岩沼市の岩沼少年剣道錬成会に所属する小、中学生の兄と妹がそろって、東京・日本武道館で7月31日と8月1日に開かれる剣道の全国大会に出場する。2人は週3回の稽古をこなして県大会で好成績を収め、「剣士の甲子園」と言われる夢舞台への切符を手にした。

◆ 全国大会に出場する兄妹は、岩沼市岩沼中3年の鈴木拓（ひらく）君（14）Ⅱ初段Ⅱと、岩沼南小4年の碧（みどり）さん（10）Ⅱ4級Ⅱ。

2人は、角田市で5月に行われた全日本少年剣道錬成大会県予選（全日本剣道場連盟主催）に出場。個人戦中学生男子の部で拓君が優勝し、同小学生女子の部で碧さんが準優勝した。

拓君は8月1日、日本武道館で開かれる個人戦の全国大会に

岩沼・鈴木拓君、碧さん 全国大会出場

「練習成果 出し切る」

出場。碧さんは7月31日の団体戦に錬成会の一員として出場するほか、北九州市で10月に開かれる個人戦全国大会への出場権を獲得した。

拓君は小学1年から剣道を始め、現在は岩沼中剣道部のキャプテンを務める。身体能力が高

い上、一本をきちんと取れる技術を身に付け、中学校の各種大会で活躍してきた。

碧さんは物心ついた頃から兄の稽古に付き添って興味を持ち、幼稚園年長時に見よう見まねで始めた。対戦相手の様子を見ながら攻め方を自在に変

えられる洞察力が持ち味で、年上相手でも打ち負かす力がある。

拓君は「練習成果を出し切り、まず初戦を勝ち抜く」と抱負を語る。碧さんは「夢のようですごくうれしい。とにかく一回でも勝ちたい」と意欲を燃やす。指導に当たる錬成会部長の川

口精一さん（61）Ⅱ7段Ⅱは「会始まって以来の快挙。全国の強豪と戦える幸せや緊張感を味わって成長してほしい」と目を細める。



剣道全国大会に出場する拓君（右）と碧さん